

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020060

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町スポーツ振興事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	件数		#N/A	
事業目標	個人～2 団体～1	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 各種大会に出場する個人・団体への経費の補助	関係例規・法令名	有 雄武町スポーツ振興事業補助交付要綱	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	各種スポーツの分野で全道大会以上に出場する個人・団体に対して必要経費の一部を助成する。	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助
	スポーツ振興補助					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,000	400	400	400	400
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,000	400	400	400	400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,804	648	181	335	640
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,804	648	181	335	640	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) パークゴルフ協会員遠征費 74千円 空手道遠征費 66千円 女子野球遠征費 105千円 高校各部活動遠征費 403千円	(実施内容等) パークゴルフ協会 51千円 高校各部活動 130千円	(実施内容等) パークゴルフ協会 29千円 高校各部活動 306千円	(実施内容等) 高校各部活動 447千円 中学女子野球 140千円 スノーボード 53千円	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 32%	162%	45%	84%	160%
	全体達成率 備考欄	32%	41%	58%	90%	90%

事業名	雄武町スポーツ振興事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋 藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	大会出場個人・団体数
【抱える課題やニーズは】	全道・全国大会参加における、個人・団体の経済的負担	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	参加負担の軽減による、積極的な上位大会への参加。	① 出場種目 個人	目 標 年 度 平成28 年度 目 標 値 2 人 実 績 値 9 人 達 成 度 450.0 %
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	充実したスポーツ活動の推進、競技意識の向上を目的とする。	② 出場種目 団体	目 標 年 度 平成28 年度 目 標 値 1 団体 実 績 値 1 団体 達 成 度 100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	個人・団体への大会参加経費の助成	全国・全道大会へ出場する個人・団体に対し、要綱に基づき審査を行い助成を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	全国・全道大会は、交通費等により参加者の経済的な負担は大きいものとなる。これらの大会に出場することは、出場者の競技レベルの向上につながり、本町のPR効果も期待できることから、助成による参加促進は教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	競技者への経済的な負担を軽減することにより、積極的な大会参加が図られ、競技スポーツの向上につながったことから、期待した効果が得られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	高いレベルの大会参加を補助することは、本町のスポーツ環境向上に寄与しており、十分効果を得ている。また、申請に対しては厳密な精査を行い、適正な助成を行っている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業趣旨に沿い、大会成績を基準に助成していることから、公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、本町の競技スポーツのレベル向上と参加促進につながり、特に生徒の競技意識の向上につながった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
スポーツ活動の推進とともに、高レベルの競技者育成、将来の指導者養成といった観点からも、今後も継続が必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止